

大玉村除染実施方法（ガイドライン）

（１） 除染方法（地域団体編）

各行政区等を中心に、通学路や集会施設、地域内の側溝等の除染を地域ぐるみで行う。

① 事前準備

行政区毎に一時仮置場の設置、除染範囲や方法、役割分担、実施時期、準備物、除染前後の放射線量等を協議決定する。

② 放射線量の把握

行政区へ貸し出ししている放射線量計を利用し、除染前後の線量値を数箇所測定し把握する。

③ 通学路及び村道の高圧洗浄機による除染

通学路車道の路肩側及び歩道を、高圧洗浄機やブラシにより洗浄する。

④ 側溝及び集水枡等の土砂撤去

蓄積している土砂や草を土のう袋へ入れ、一時仮置場へ運搬する。出来る限り水分は除去する。

⑤ 路肩の草刈り及び土砂撤去

車道や歩道を洗浄後、放射性物質が路肩へ蓄積する。よって、高線量箇所は状況を考慮し、土砂撤去（表土剥ぎ取り、5cm～10cm 程度）を行い、土砂は土のう袋へ詰め、行政区内の一時仮置場へ運搬する。

⑥ 公園・集会所の除染

公園は遊具を高圧洗浄機で洗浄する。集会所は雨どいや排水路等の洗浄を行う。土砂は土のう袋へ入れ、敷地内或いは行政区内の一時仮置場へ運搬する。

⑦ 一時仮置の方法

山積みにする方法

土壤に予め遮水シートを敷き、水が地下に浸透しないようにし、除去土砂等を耐水性材料（土のう袋に入れてさらにフレコンバック）などで梱包し、遮水シートの上に置く。さらに雨水浸入防止のため遮水シートなどで覆い、周囲より著しく高い測定値が示された場合には、覆土の増量など追加的な遮へい対策を行う。

地下に埋設する方法

除去土砂等を仮置きするための穴を設け、穴の底面及び側面に予め遮水シートなどを敷き、除染土砂等を耐水性材料（土のう袋に入れてさらにフレコンバック）などで梱包し穴に入れる。雨水浸入防止のため遮水シートなどで覆い、30cm 以上の土をかぶせる。

⑧ 一時仮置場の管理

一時仮置場の敷地境界での放射線量を定期的に測定し、不法投棄防止のための監視体制を強化する。



放射線量計により計測



汚染土砂等を土のう袋へ入れる

(2) 除染方法（個人住宅編）

最も身近な生活空間（家庭周辺）の除染を早急に行い、線量低減を図る。なお、家庭周辺の除染で発生した除去土砂等は、敷地内での処理を原則とする。

① 事前準備

個人毎に住宅環境の把握、除染箇所や方法、準備物、除染前後の放射線量等を把握する。

② 放射線量の把握

行政区へ貸し出ししている放射線量計を利用し、除染前後の線量値を数箇所測定し把握する。

③ 雨どい・サッシ網戸の洗浄による除染

水洗い、サッシ、網戸を水洗いや水拭き掃除を行う。

④ 屋内の拭き掃除による除染

畳、フローリング、柱等の水拭きによる除染を行う。

⑤ 庭木等の除染

事故発生時に葉がついていた常緑樹は、枝葉のせん定を行う。一方、落葉樹は周辺に残っている落ち葉・腐葉土があればその回収を行う。

⑥ 宅地内の側溝及び集水枡等の土砂撤去

蓄積している土砂や草を土のう袋へ入れ、宅地内へ埋設する。出来る限り水分は除去する。

⑦ 路面や犬走り等の高圧洗浄による除染

高圧洗浄機による洗浄を行う。

⑧ 宅地内の表土撤去

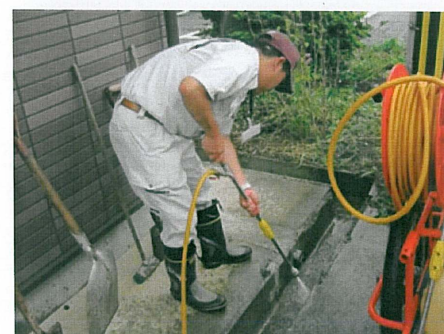
状況を考慮し、表土の土砂撤去（表土剥ぎ取り、5cm～10cm 程度）を行い、土砂は土のう袋へ詰め、宅地内へ埋設する。出来る限り水分は除去する。

⑨ 宅地内への一時仮置の方法

地域団体編の⑦と同様。



雨水排水箇所の土砂撤去等



宅地内側溝の高圧洗浄



フレコンバックでの一時仮置

（注意） 除染作業を行う際の留意事項

作業を効率化し、長時間の作業にならないように努め、ゴム手袋等を着用し、作業後は手足、顔などの露出部分を洗い、うがいをする。また、放射線に関する知識を得るよう努める。

なお、除染に要した経費の支払証拠書類等は、今後の損害賠償請求等で必要になる場合がありますので大切に保管して下さい。

（お問い合わせ）

大玉村役場 住民生活課 原発災害対策班 ☎ 0243-48-3131（内線 284・285）